

福岡県警察交通管制センター

安全で快適な交通環境をめざして

交通管制センターのあらまし

車社会の発展は、私たちの生活に便利さをもたらす一方、交通事故、交通渋滞、排気ガスや騒音等の交通公害をひきおこしています。これらの問題を少しでも減らし、人と車の調和をはかり、道路の効果的な利用を行うことにより、安全で円滑な交通の流れをつくりだすのが交通管制システムです。

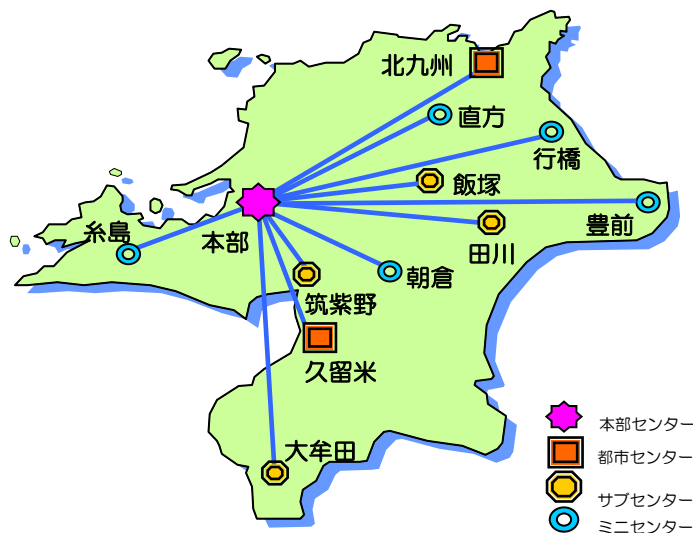
福岡県警察では、全国に先がけ昭和45年度からこのシステムを運用するため、コンピュータを導入した交通管制センターを設置し、効果的な運用を図っています。

交通管制センターでは、

- ① 交通情報の収集
- ② 交通情報の分析・指令
- ③ 交通信号機のコントロール
- ④ 交通情報の提供

を行っています。

このように安全で円滑な交通の流れをつくりだし、福岡県民のよりよい交通環境と住みよいまちづくりに大きな力を発揮しています。



交通管制センターの役割

交通渋滞の減少

交通状況に応じて、交通信号機をコントロールしたり、交通情報板等で的確に車を誘導しますので、交通渋滞や混雑が大幅に減少します。

交通公害の防止

渋滞や混雑による停止回数が少なくなるため、停止中や発進時に出される排気ガスや騒音が減少し、人にやさしい環境づくりに寄与します。

交通事故の減少

交通渋滞や信号による停止回数が少なくなるため、車の流れがスムーズになり、イライラ運転などによる事故が減少します。

省エネと環境の保護

スムーズな車の流れをつくることにより、走行時間が大幅に短縮され、燃料消費が減少します。エネルギーの省力化により、地球にやさしい環境づくりを推進します。